

# 焦点面イメージ 近赤外分光器 可視高分散分光器

京大宇物 岩室史英



3.8m 夜間試験風景

# 焦点面イメージ

観測装置フランジ（表面はファイバープローブポート）と  
ガイダー/小型装置ステージの2層回転ステージ



高コントラスト  
観測装置 SEICA

ファイバー

真空システム

高速度像分光器

近赤外相対測光分光器

可視高分散分光器

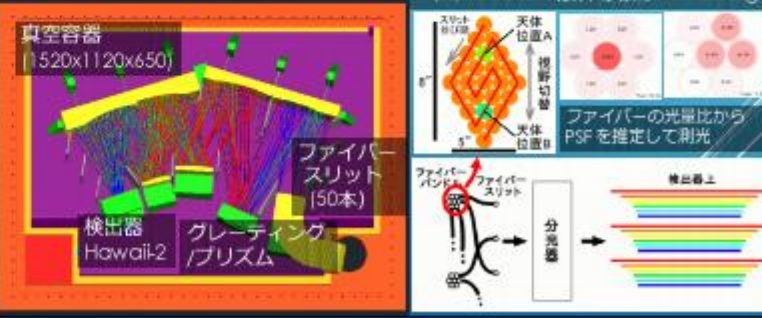
ナスマイス台と方位軸の色は  
茨口市の小学生の投票で決定

運用開始時に予定している観測装置

# 近赤外分光器

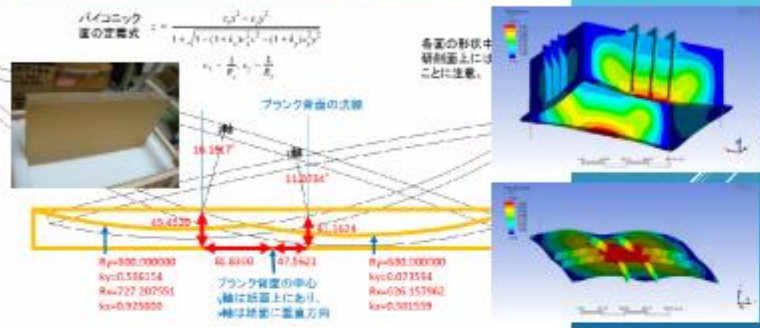
(近赤外相対測光分光器)

ファイバー径 0.91 (φ100μm)  
ファイバー本数 25本×2組  
波長域 z~Ks 同時  
波長分解能 ~4,000  
1h S/N=10での限界等級は~17.5mag



# 近赤外分光器

真空容器の設計終了・発注手配  
バイコニック鏡 No.1 硝材入手,加工発注



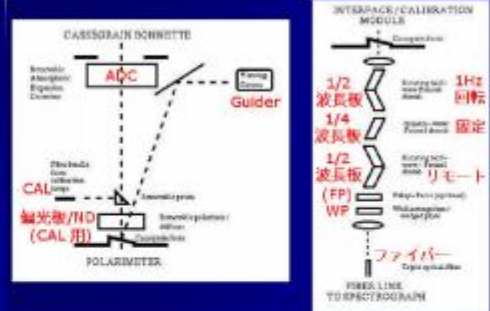
# 可視高分散分光器

## Cassegrain Unit

CFHT 高分散分光器 ESPaDOnS の偏光ユニットの例→

連続光の偏光は×  
ADC は必須  
装置フランジ使用

通常のプローブ  
CAL ユニット  
偏光ユニット  
の3か所からファイバースリットへ



# 可視高分散分光器



ファイバー径 0".45 (φ50μm)  
0".91 (φ100μm)

ファイバー本数 6本

波長域 U~z 同時

波長分解能 ~100,000  
~50,000

1h, S/N=10 の限界等級は ~15.3mag

